

本気の野党共闘と共産党の躍進で 安倍政治ストップ 新しい政治ひらく年に

2019 新年からダッシュ!!

参議院議員・弁護士

日本共産党

仁比 そうへい



八坂神社前で年始あいさつ

消費税10%、大軍拡・9条改憲、新基地ノ一、原発ゼロを



春の統一地方選挙と夏の参議院選挙がたたかわれる一大政治決戦の2019年が明けました。日本共産党の仁比そうへい参議院議員は「消費税10%、大軍拡・9条改憲、沖縄の新基地ノ一、原発ゼロを」「暴走する安倍政治にストップをかけ、新しい政治をひらく年に」と新年からダッシュしています。

元日から宣伝
初詣客に訴え

仁比議員は1月1日、田村貴昭衆院議員らとともに北九州市の八坂神社前で年始のあいさつに立ちました。

初詣客に声をかけて次つぎと握手。仁比氏は「安倍政治を終わらせる大きな力の共同をどうつくるか。その一点に集中して全力を尽くします」と決意を語りました。

仕事始めの4日に

▲岡山市の演説会で訴える仁比氏

は、田村貴昭衆院議員と北九州市内の4必勝区の県議予定候補、北九州市議団とともに同市小倉北区の市役所前で新春宣伝しました。

長崎で党旗開き
本気の共闘訴え

仁比議員は5日、党長崎県委員会と南都地区委員会が開いた「党旗開き」に参加しました。

自由党長崎県連の末次精一代表と立憲民主党長崎県連合の牧山大和副代表が駆けつけ、「市民と野党の共闘で安倍政治を終わらせよう」と連帯のあいさつ。仁比氏は野党代表のあいさつにふれ、「この長崎と全国で本気の共闘を实らせることが安倍政権を打倒し、日本に憲法を取り戻す決定的な力になる。その先頭に立つてがんばり抜く日本共産党を大きく躍進させてほしい」と力を込めました。

岡山市で
今年初の演説会

6日には、今年に

戦後日本が武力紛争の当事国になることなく、平和を維持してき

仁比氏ら9条めぐり討論

札幌弁護士会がシンポジウム

安倍首相が年頭会見で執念を燃やす9条改憲に国民の関心が高まるなか、札幌弁護士会（八木宏樹会長）が12日、シンポジウム『憲法改正問題』を真剣に

問われ、仁比氏は「二度と戦争はしない」9条と、その下で積み重ねてきた日本社会の民主主義の深い力だ」と強調しました。



日本共産党・参議院議員
仁比そうへい国会報告
2019年1月号

発行：仁比聡平国会事務所
東京都千代田区永田町2-1-1
参院議員会館815号室
☎ 03-6550-0815 FAX 03-6551-0815
日本共産党の見解を紹介します。



【略歴】●1963年北九州市で新日鉄労働者の家に生まれる。小倉高校、京都大学法学部卒●弁護士（北九州第一法律事務所）、1999年から国政候補として活動。2004年参院選の比例区で初当選。13年参院選で議席奪還●議運理事、憲法、情報監視、予算、決算、国土交通、法務、災害委員などを歴任。現在は党中央委員、党参院国対副委員長●家族：妻/1女1男。